

大平中学校空調整備工事

大 平 中 学 校	
図面番号	図 面 名 称
E－00	図面リスト
E－01	電気設備 特記仕様書
E－02	案内図・配置図
E－03	既設キュービクル結線図
E－04	1階 空調動力幹線配線図
E－05	2階 空調動力幹線配線図・動力配線図・動力盤結線図
E－06	2階 空調リモコン配線図
M－01	機械設備 特記仕様書
M－02	1階平面図 空調設備
M－03	2階平面図 空調設備・空調機器表

[illegible]

4. 工 事 種 目 (●印のついたものを適用する。)		工 事 種 別				備 考
工事種目	建築物及び屋外	校 舎			屋 外	
・ 電 灯 設 備		●	●	●	●	
○ 動 力 設 備	○	○	●	●	●	
・ 電 熱 設 備		●	●	●	●	
・ 雷 保 護 設 備		●	●	●	●	
・ 変 電 設 備		●	●	●	●	
・ 電力貯蔵設備		●	●	●	●	
・ 発 電 設 備		●	●	●	●	
・ 構内交換設備		●	●	●	●	
・ 構内情報通信網設備		●	●	●	●	
・ 情報表示設備		●	●	●	●	
・ 映像・音響設備		●	●	●	●	
・ 拡 声 設 備		●	●	●	●	
・ 呼出し設備		●	●	●	●	
・ テレビ共同受信設備		●	●	●	●	
・ 監視カメラ設備		●	●	●	●	
・ 駐車場管制設備		●	●	●	●	
・ 防犯・入退出管理設備		●	●	●	●	
・ 火災報知設備		●	●	●	●	
・ 中央監視制御設備		●	●	●	●	
・		●	●	●	●	
・		●	●	●	●	
・ 構内配電線路		●	●	●	●	外灯設備を含む
・ 構内通信線路		●	●	●	●	
・ 電波障害調査		●	●	●	●	

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大匠官庁庁舎補修共済工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版、同公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）最新版、同電気設備工事標準理計用最新版（電気設備工事編）環境調整共済建築設備工事標準（電気設備工事編）最新版による。

2. 特記仕様

① 項目番号 ☐ 印のついたものを適用する。

② 特記事項 ☐ 印の付いたものを適用する。

☐ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

③ 印と ☒ 印の付いた場合は、共に適用する。

	項	目	特記事項
一	①	適用基準等	● 標準色（2.SY 8.5/1）◎ メーカーの標準色・指定色（ ） ○ 工事写真の撮り方 建設設備（国土交通省大臣官庁官庁宮務部監修 改訂第3版）
	②	機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督員の承認を受ける。
	③	機材の品質 性能証明	使用する機材が、「(社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（平成27年版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章4節1.4.2.(b)の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。ただし、標準仕様書に規定される製作図、試験成績書等は除く。
	④	工事実績情報の登録 (GORINS)	◎ 該負荷が500万円以上の場合は、受注時、変更時及び完成時、遅延なく工事実績情報を登録すること。
	⑤	電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を保守管理する電気保安協会等を確保し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の実務を行うものとする。
	⑥	安全衛生管理	工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり建築基準法、労働安全衛生法等の関係法令等に従ってこれを行うこと。
共	⑦	工事用の電力 ・水・その他	工事用仮設電力・水等の費用、官公署等への諸手続等の費用、及び本電源受電後引渡し又は、使用開始日よりの電気料金は、関係各課長室において協議の上負担すること。
	⑧	足場その他	別契約の関係請負者の定置する足場、さん橋の種類は、無償で使用できる。 ただし、別契約の関係請負者の工程に害を及ぼす場合は、この限りでない。
	⑨	建造物の破壊、 修復	工事の施工により、建造物を破損し、著しくはつう、穴明け等により改造しようとする場合は、直ちに監督員に報告し、その施工方法を記載した詳細図を提出し、監督員の承諾を得て、すみやかに修復。若しくは改造を行うと共に、当該工事前後の状況写真を提出すること。 敷地内において、障害物並びに危険物を発見した時、又は貴重品と思われる物の発見があった場合は、監督員に報告しその指示を受ける。
通	10.	発生材の処理	(1) 引渡しを要するもの ※ なし ・ あり () (2) 特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり () PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。 土記 (1) 2以外 の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量化等を図るものとし、処理方法は監督員とは協議する。 再利用率・減量化等を求めた発生材の処理方法は別途とする。 (4) 産業廃棄物税について 本工事で発生する建設廃棄物のうち、岩手県内の最終処分場（中間処理施設経由を含む）に納入される産業廃棄物については、岩手県産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
	11.	建設発生土の処理	建設副産物消正処理推進要綱に従い処理する。 横外搬出距離 kmを超え km以下 (DID地区 ・ 有 ・ 無) (土の処分費別のみ別途とする) ※ 構外指示の場所に撤出す。 受入れ施設名・住所(km) ※ 構内指示の場所に敷きならす。 ※ 構内指示の場所にたい積する。

◎ 一般共通事項

19. 保 險

20. 經 年 檢 查

21. 施 工 條 件

書 類 名	製 本 仕 様	規 格	部 数	備 考
○ 完成図書	・ 金文字入黒表紙 ○ 市販ファイル	○ A 4 判	○ 2	完成図（修正設計図）、施工図、納入仕様書 通知と説明書、材料構成表、出荷証明書、 保証書、官庁登録簿等 産業廃棄物処理関係書類（委託契約書、 許認可、マニフェスト等）等 関係者、宛先送付方式一表巻を一括 パンダック製本とする。 なお一冊の厚さは、10cm程度とする。
○ 完成図 （修正設計図）	○ 二つ折り製本	・ A 2 判 ○ A 4 判	・ 3 ○ 2	完成図・施工図合冊のこと。 A 3判二つ折り
○ 施工図	○ 二つ折り製本	・ A 2 判 ○ A 4 判	○ 2 ・ 3	完成図・施工図合冊のこと。 A 3判二つ折り
○ 完成写真	○ 市販ファイル	○ A 4 判	○ 2	
○ 工事写真	○ 市販ファイル	○ A 4 判	○ 2	登録工事写真集撮影要領（国土交通省大臣官房 官庁整備部）に参照
○ 保守管理 案内書	○ 市販ファイル 内書	○ A 4 判	○ 2	日本保守管理案内書（使用者が容易に理解 できるもの）
○ 工事関係 書類	○ 市販ファイル	○ A 4 判	○ 1	施工体制表・体系図、材料収支簿
○ 電子納品	○ CD-Rまたは DVD-R		○ 2	完成図（修正設計図）及び施工図のCAD データ（元データ JWW、DXF、PDF等） 完成写真、工事写真のデータ（任意様式）

○ ナードライバー	○ プライヤー	○ ペンチ	○ 鋼性テープ
○ アルミ製脚立	○ 懐中電灯	○ テスター	○ メガー
○ 換気扇	○ 接地抵抗計	○ 施工図	○ 機器製作図
・ 照度計	・ 電圧強度測定器	・ カラーテレビ	・

設備機器の固定は、「建築設備新設計・施工指針 2014年度版（独立行政法人 建築研究所監製）」による。

なお、本工事の施設分類は「○ 特定の施設 ○ 一般の施設」とし、設計用標準水平度（K_a）は下表による。

設計用標準水平震度 (K _a)				
設置場所	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	重要機器以外	重要機器	重要機器以外
上層部・屋上及び塔屋	2. 0 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 5 (2. 0)	1. 0 (1. 5)
中 間 層	1. 5 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	1. 0 (1. 5)	0. 6 (1. 0)
1 階及び地下階	1. 0 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 6 (1. 0)	0. 4 (0. 6)

(注) () 内数値は、防震装置付き機器などの場合を示す。

重要度の高い設備機器

● 配電盤	● 充電装置	● 交換機	● UPS	● 直流電源装置
● 増幅器 (自立形)		● 受信機 (自立形)		● 情報通信ラック

・ 梁貫通部の補強及びスリーブ	補強	・ 本工事	・	建築工事
・ 床、壁の仮枠及び補強	スリーブ 仮枠	・ 本工事 ・ 本工事	・	
・ 天井埋込形器具	補強 差し出し	・ 本工事 ・ 本工事	・	建築工事
	下地切込 仕上り材切込	・ 本工事 ・ 本工事	・	建築工事
・ 埋込形電燈、端子盤、プルボックス	補強 仮枠	・ 本工事 ・ 本工事	・	建築工事
・ 換気扇	壁用換気扇 天井間及び換気筒 空調換気扇 有圧換気扇 電源供給	・ 本工事 ・ 本工事 ・ 本工事 ・ 本工事 ・ 本工事	・	機械工事
・ 浄化槽	電源供給 制御盤 制御盤以降の配管 配線、結線	・ 本工事 ・ 別途工事 ・ 本工事 ・ 本工事	・	機械工事
・ 屋外受変電設備	基礎	・ 本工事	・	建築工事
・ 自立形制御盤	基礎	・ 本工事	・	建築工事
・ 自立形アンテナ	基礎	・ 本工事	・	建築工事
・ 天井点検口		・ 本工事	・	建築工事
・ 屋外キュービクル受変電設備用消火器		・ 本工事	・	支給品
・ 同上消火器ボックス		・ 本工事	・	支給品

・ 金鋼製（ステンレス、新金鋼も含む）

・ 樹脂製

工事着手前に、取外し機器が接続されている分岐回路の、絶縁抵抗を測定する。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうち、取付ける。

・ 現場持ちハンドホール

・ ブロックハンドホール

鉄蓋

・ 鉄マーク入り

・ 電気マーク入り

・ 重荷型防水

・ 中荷型型防水

下記の受注者は、工事期間中、工事目的物及び工事資材（支給材料を含む）に対して下記により保険等に加出し、その証書の写しを監督員に提出する。

(1) 加入する保険

受注者は、工事の内容により、建設工事保険、火災保険、組立保険等のうち、1以上の保険に加入する。

(2) 保険金

原則として請負代金額とし、保険等に必要な一切の費用は、受注者の負担とする。

(3) 保険の期間

原則として工事着手日から工事完成後 30 日後までとする。

(4) 保険契約の締結

保険契約締結後に請負代金額の変更又は工期延長等があった場合は、相応の保険契約を変更すること。

(5) 保険証券の提出

保険契約を締結（変更を含む）した場合は、当該保険証券等の写しを監督員に提出する。

○ なし

・ あり

◎ 本工事は建物を使用しながらの工事であること。

電
灯
設
備

		光色色 ※三波長域発光形照光色色 ※電球色 ※昼白色	
4. 非常用照明器具	※ 電池内蔵形	※ 電球色	
5. ハイテンション アウトレット	※ 飛び出し形	※ 電源別置形	
6. 予備配管	※ 銅合金製	※ アルミ製	
	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(2.5)を1本、5個以上の場合(2.5)を2本、天井まで立上れる。		
・動力設備	① 電気方式	幹線 三相3線式 200V 50Hz 分岐 三相3線式 200V	
	2. 警報装置	※ 壁掛形(電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置)	
	3. 電磁開閉器用押扣 (遠方操作)	※ 埋込連用形配線器具	
	4. 機器への接続	電動機などの接続は本工事とする。	
	5. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。	
・電熱設備	1. 電気方式	幹線 相線式 V 50Hz 分岐 相線式 V	
	2. 施工場所及び面積	※ 表裏面ポーチ 約 m ² 約 m ²	
○受変電設備	① 電気方式	高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V ※ 低圧 単相3線式 200V/100V	
	2. 配電盤	※ 屋内用 ・ 屋外用 ※ キュービクル式配電盤 ・ 高圧スイッチギヤ ※ 漏流ヒューズ及び高圧負荷開閉器(PF-5) ・ 高圧交流遮断器(CB) 定格遮断電流 12.5kA	
	3. 主遮断装置	変圧器総容量 700kVA	
	4. 設備容量	※ 低圧 ・ 高圧	
	5. 進相用コンデンサ	※ 無効電力検出方式	
	6. 自動力率制御装置	※ 力率検出方式	
・電力貯蔵設備	1. 直流電変装置	※ 非常用照明器具電源、受変電設備制御電源共用	※ 受変電設備専用
	2. 交流無停電電源設備 (UPS)	用途() 容量 kVA	
・発電設備	1. ディーゼル発電装置	電気方式 三相3線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA 原動機 定格出力 [KW以上 PS以上] 始動方式 ※ 電気式 ・ 空気式 ※ 冷却方式 ※ ラジエータ ・ 水冷循環式	
	2. ガスタービン発電装置	電気方式 三相3線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA 原動機 定格出力 [KW以上 PS以上] 始動方式 ※ 電気式 ・ 空気式	
	3. 燃料	種類 ※ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ※ 燃料小出槽 主貯油槽(地下) ※ なし ・ あり(・別送 ・ 本工事)	
	4. 太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力 kW パワーコンディショナ 相線式 定格出力 kW	
・電保護設備	1. 受電部	・ 突針 ・ むね上導体 ・ 空木(別送)など	
	2. 避雷導線	※ 引手導線 ※ 建築構造体利用	
	3. 接地極	※ 接地極設置 ・ 重要構造体利用	
・構内交換設備	1. 電話交換機	形式 ・ ボタン電話装置 ・ PBX ・ IPPBX ・ VoIPサーバ 回線数 内線 108 / 192 回線 局線 12 / 20 回線	
	2. 電話機への記録	電話機1台につき、下記のものを見込む ・ EM-TF0.65-2C (・20m ・ m) ・ EM-BTIE0.5-2P (・20m ・ 3m)	
	3. ローテーション アウトレット (電走形)	※ 一般電話用 個 (・納入する ・ 取付ける) ※ 銅合金製 ・ アルミ製	
	4. 保安器用接地	※ 本工事 ・ 別途工事	
・通信・情報設備	1. 構内情報通信網設備	種類 (・10BASE-T ・ 100BASE-TX ・ 1000BASE-T ・ ATM)	
	2. 情報表示設備	・ 情報表示装置(・発光ダイオード式 ・ 磁気浮動式 ・ プラズマ式 ・ 液晶式) ・ 時計計 回線 ※ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 複合防災警報組込 (・電子式チャーム組込み ・ プログラムタイマー組込み)	
	3. 映像・音響設備	・ 増幅器 860V (※ 8-VHS ・ DV) ・ VTR (※ 前面投写式 ・ 背面投写式) ・ プロジェクタ (※ 地上形 ・ キャビネットラック形)	
	4. 拡声設備	・ 増幅器 W	
	5. 誘導支援設備	・ 身体障害者用インターホン ・ トイレ等呼び出し装置 ・ 音声誘導装置	
	6. 呼び出し設備	・ インターホン (・受付用 ・)	

・火災報知設備

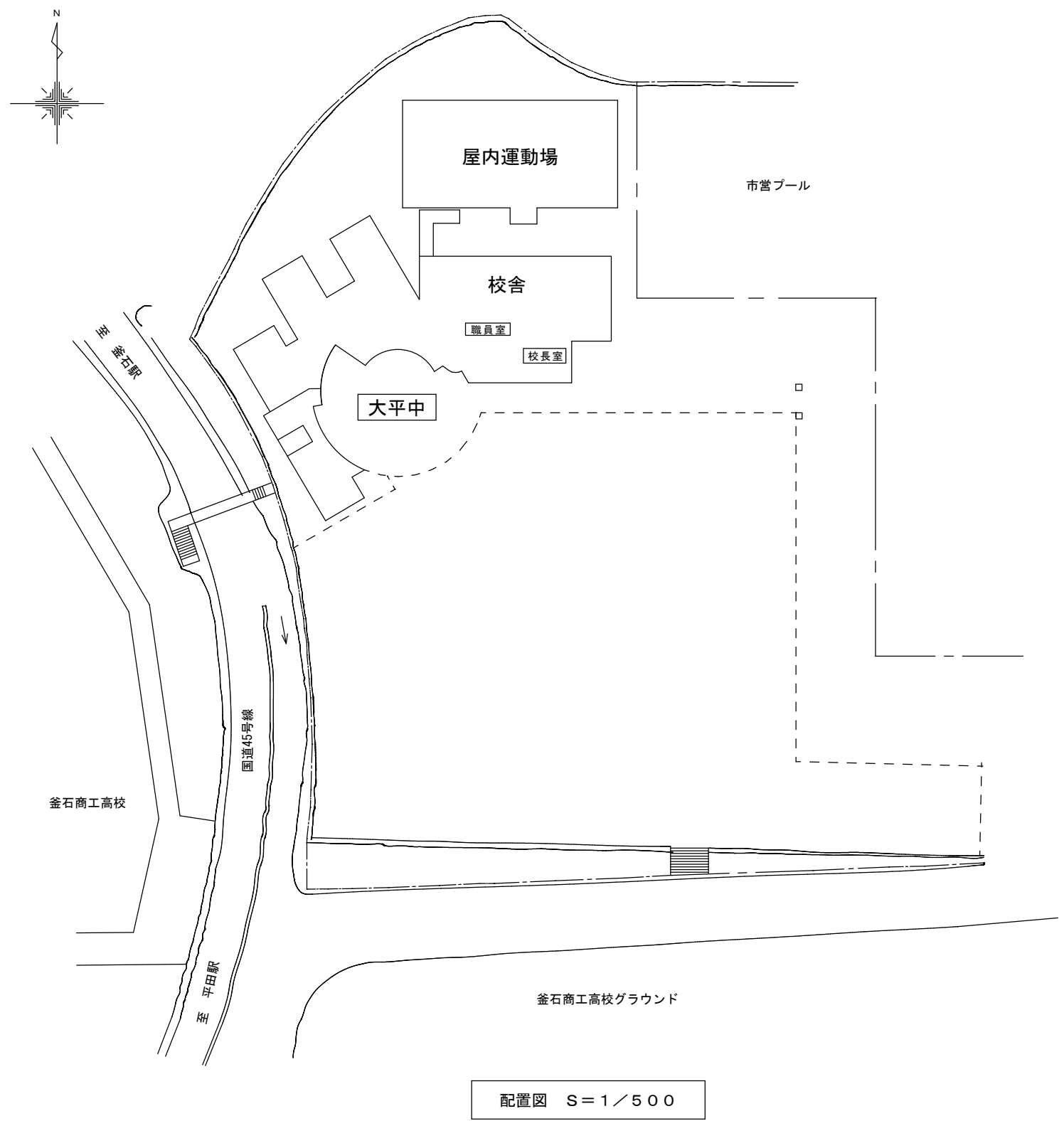
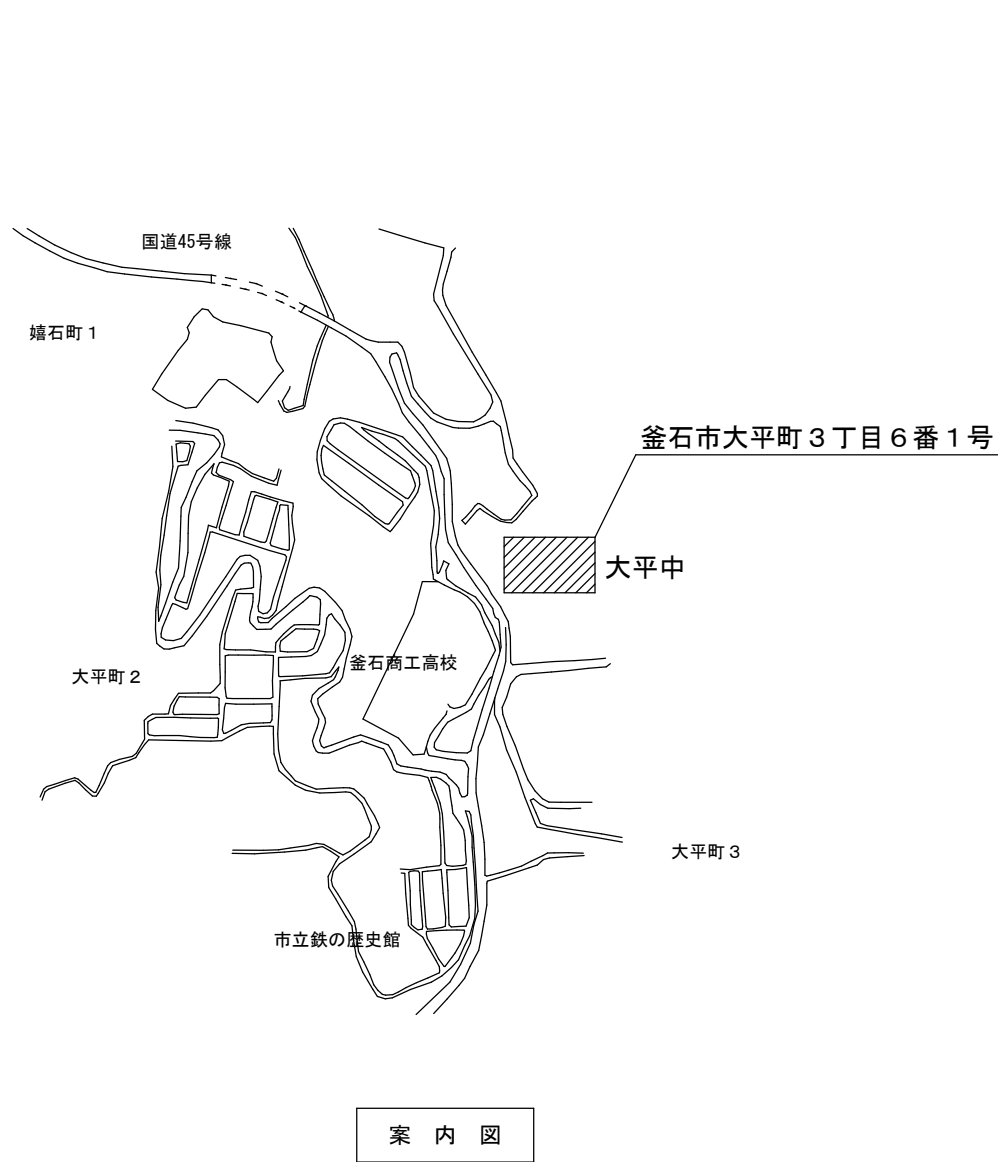
	・ 自動開放機構	・ 排煙ダンパ（別途、排煙機運転用連動機構付）	
・ ガス漏れ警報装置	・ 受信機	・ 回路（ ・ 都市ガス用 ・ 液化石油ガス用） ・ 単独（ ・ 壁掛形 ・ 自立形）	・ 火報受信機能などの適合品
・ 監視制御対象設備	・ 動力設備	・ 受変電設備	・ 発電設備
・ 表示操作盤	・ 壁掛形	・ 自立形	・ 火災報知設備
・ 監視制御装置	組込み機器 構成機器	・ グラフィックパネル ・ プラズマディスプレイ ・ CRTディスプレイ ・ 中央処理装置 ・ 作業用印字装置	・ ミニグラフィックパネル ・ 操作卓 （ ・ キャラクタ 形 ・ グラフィック 形） ・ 伝送端末局（予備） ・ 顔印字装置 形
・ 工事範囲図	・ 管路	・ 配線	・ 機器類
・ 電表方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200/100V ・ 低圧 三相2線式 100V ・ 低圧 三相3線式 200V	※ 一般用 ※ 地絡検出器付き（※ 方向性 ・ 無方向性） ※ 一般用 ※ 耐雷用	・ 耐重塩じん用 （※ 方向性 ・ 無方向性） ※ 一般用 ※ 耐雷用
・ 土留方法	※ 地上埋設式	※ 架空式	
・ 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器 ・ 避雷器 ・ 高圧カットアウト、がいしなど	※ 一般用 ※ 耐雷用	※ 処理者銘板取付（壁内外共、縦名、作業日、氏名を表示） 東北電力（株）外施工基準（架空編）に準ずる。 定格電圧 V W
・ 高圧ケーブルの端末処理	※ 側面	※ 一般用	※ 耐雷用
・ その他	※ 処理者銘板取付（壁内外共、縦名、作業日、氏名を表示）		
・ 外灯設備	東北電力（株）外施工基準（架空編）に準ずる。		
・ 工事範囲図	・ 管路	・ 配線	
・ 用途	・ 電話用	・ 時計・拡声用	・ 火災報知用
・ 土留方法	※ 地上埋設式	※ 架空式	
・ 目的	・ 事前調査	・ 事後調査	
・ 調査項目	地上波アンテナ ※ 受信レベル測定（事項内全電力） ※ MER 衰減差比（各チャンネル毎） コンストラクション ※ BER ビット誤り率 DMM 妨害波比 ※ スペクトラム測定		
・ 調査地点	・ 路上ポイント	・ ポイント	
・ 調査チャンネル数	・ VHF チャンネル	・ UHF チャンネル	
・ 提出書類	・ 報告書（写真含む）部		

「機器取付高さ」は、下記を標準とする。ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

機 器	測 点	取付高 (mm)
取引用計器	床上～中心	約1,800
引込線引当高	地上～引込点	
分 電 盤（壁掛形）	床上～中心	1,500 (上端2,000以下)
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
スイッチ（一般）	床上～中心	1,200
コンセント（壁）	床上～中心	300
コンセント（床）	床上～中心	200
コンセント（台上）	台上～下端	100
コンセント（ファン用）	床上～下端	ファン用
コンセント（扇筒）	床上～中心	800～1,000
コンセント（車庫）	床上～中心	1,300
コンセント（機械室）	床上～中心	500～1,000
コンセント（屋外）	地上～中心	1,000～1,300
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100～2,300
ブラケット（橋場）	床上～中心	約2,500
ブラケット（線路）	線上端～中心	150
避難口誘導灯	地上～下端	1,500以下
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
壁掛け制御盤	床上～中心	1,500 (上端2,000以下)
開閉箱	床上～中心	1,500
電磁開閉器用押ボタン	床上～中心	1,300
呼出ボタン（使用済）	床上～中心	900
壁付インターホン（一般機）	床上～中心	1,300
壁付インターホン（玄関子機）	床上～中心	1,100
廊下表示灯（復旧ボタン付）	床上～中心	1,300
「使用中」・「施錠中」表示灯	床上～中心	1,500
スイッチ	床上～中心	1,100

機 器	測 点	取付高 (mm)
引込線引当高	地上～引込点	
集合保安装置	天井～上端	200
端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
端子盤（EPSなど）	床上～中心	1,500
壁付アウトレット（一般）	床上～中心	300
壁付アウトレット（和室）	床上～中心	200
壁掛け時計	床上～中心	1,500 (上端2,000以下)
壁付肘すり椅子	床上～中心	2,300
壁付アラナータ	床上～中心	1,300
表示 燈	床上～中心	2,300
警告発信機	床上～中心	2,300
ベル・ブザー、チャイム	床上～中心	2,300
壁付昇降タン（一般）	床上～中心	1,300
壁付インターホン（一般）	床上～中心	1,300
壁付アウトレット（一般）	床上～中心	300
壁付アウトレット（和室）	床上～中心	200
機器収納箱	天井～上端	200
直列ユニット（一般）	床上～中心	1,300
直列ユニット（和室）	床上～中心	200
受 信 機	床上～操作部	800～1,500
受信受信機	床上～操作部	800～1,500
機器収納箱	床上～操作部	800～1,500
発信受信機	床上～操作部	800～1,500
表示 燈	床上～中心	2,100
警報ベル	床上～中心	2,300
液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
都市ガス用検知器（重質）	床上～上端	250





釜石市建設部都市計画課

課 長	主 幹	課長補佐	設 計	

工 事 名	
大平中学校空調整備工事	
令和 5 年 6 月	縮尺 A1 : 1 / 500 A3 : 1 / 1000

図 面 名
案内図・配置図

3Φ 3W 6600V 50Hz 東北電力配電線路より

電気室 平面図

屋内キュービクル 姿図

既設キュービクル内 単線結線図

キュービクル単線結線図

低圧配電盤改修内容

※ 1

- ・ 幹線は(EM-CET38sq E5.5)を新設
- ・ キュービクル内に端子台新設
- ・ 既設予備ブレーカ端子台(24)からEM-CET22sqを新設端子台に接続のこと。
- ・ 線名札にて回路表示のこと。

幹線サイズ	設備用途	負荷容量 (kVA・kW)	負 荷 名 称	機種番号
11	QYT 38sq	27	1L-1	LI-1
12	QYT 38sq	28	2L-1	LI-2
13	QYT 38sq	20	4L-1	LI-3
14	QYT 60sq	27	1L-2	LI-4
15	QYT 100sq	49	2L-2	LI-5
16	QYT 38sq	10	2L-3	LI-6
17	QYT 38sq	19	休館館	LI-7
18	QYT 38sq		予 備	LI-8
19	QYT 38sq	0.1	LED電源	LI-9
110	QYT 38sq	0.1	所内電源	LI-10
111	QYT 38sq			LI-11
112	QYT 38sq		予 備	LI-12
113	QYT 38sq	10.59	EL-1	
114	QYT 38sq		夜間照明	LI-14

21	QYT 14sq	6.91	1P-1	PI-1
22	QYT 38sq	14.2	1GP L-1	PI-2
23	QYT 14sq	7.5	消火ポンプ	PI-3
24	QYT 14sq		太陽光発電	PI-4
25	QYT 14sq		予 備	PI-5
27	QYT 14sq	4.39	EP-1	PI-6
	QYT 14sq	28.95	EP-2	

工事名

大平中学校空調整備工事

図面名

既設キュービクル 結線図

令和5年6月

E-03

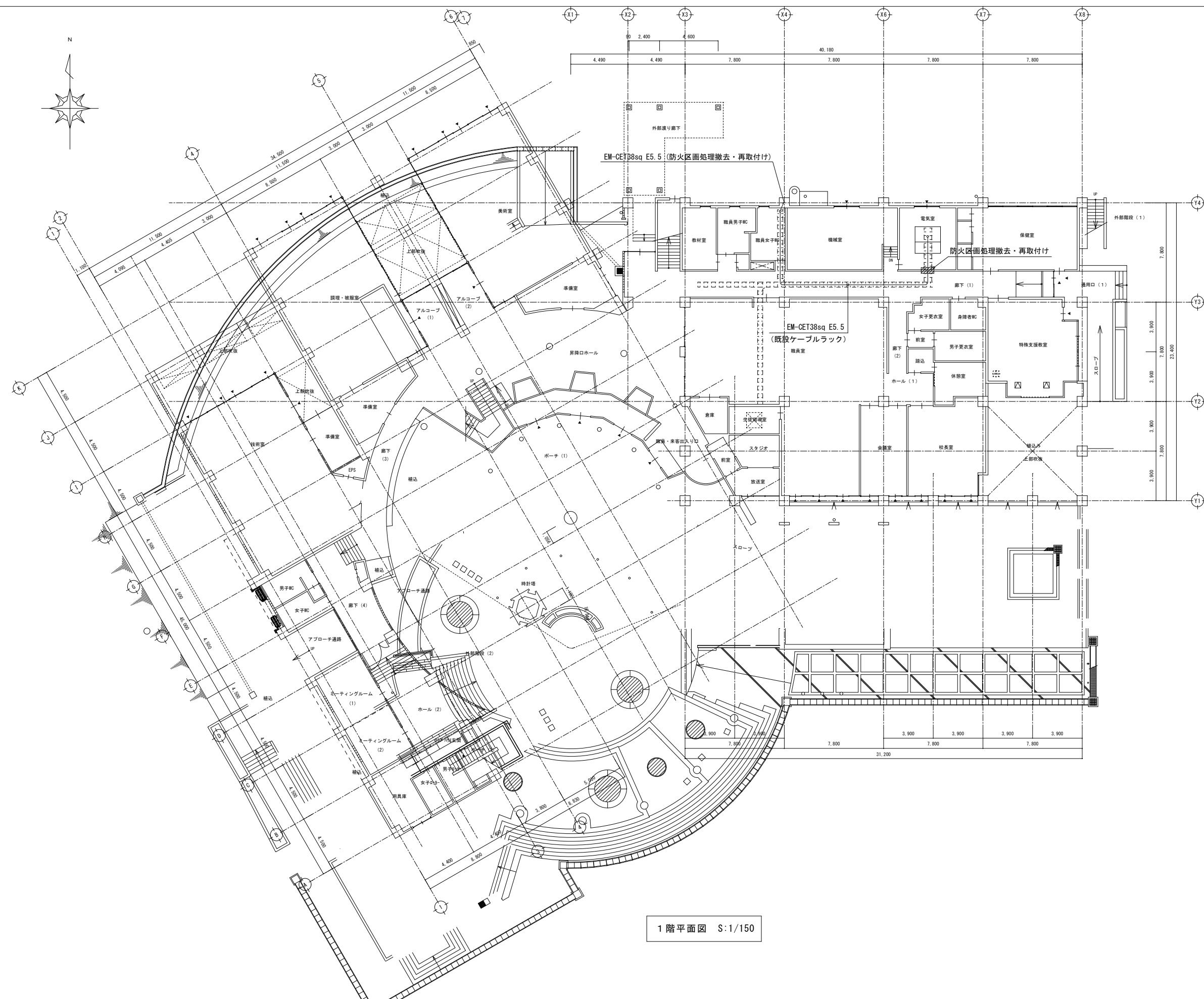
釜石市建設部都市計画課

課 長

主 幹

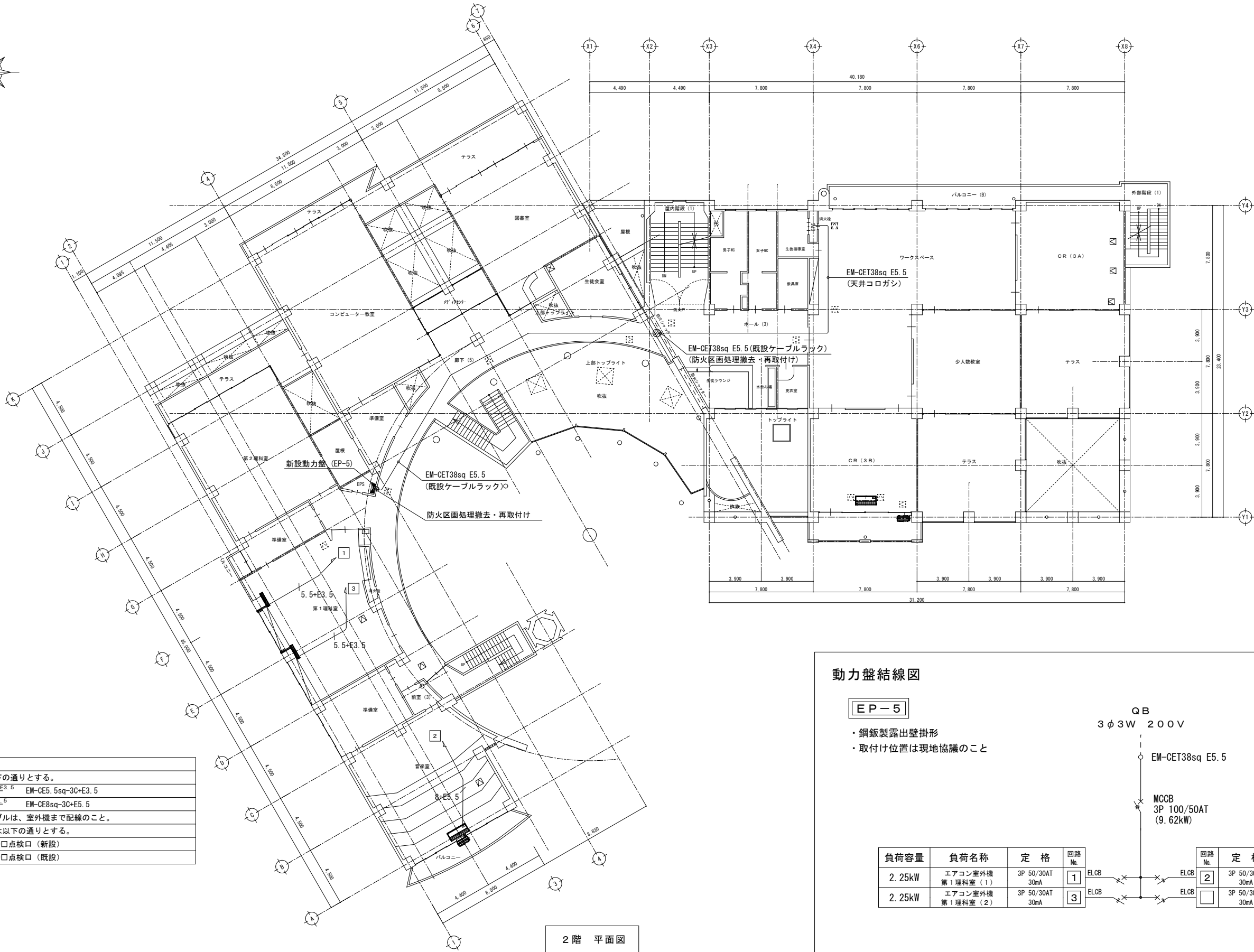
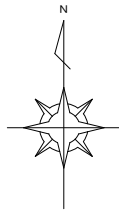
課長補佐

設 計



1 階平面図 S:1/150

 釜石市建設部都市計画課	課 長	主 幹	課長補佐	設 計	工事名	図面名	E-04
					大平中学校空調整備工事	1 階 空調動力幹線 配線図	
					令和 5 年 6 月		

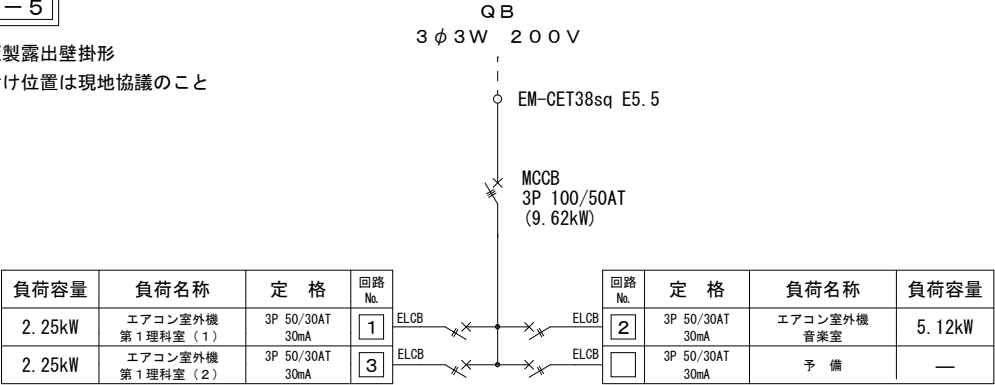


注 記	
1、配線は以下の通りとする。	
	EM-CE5.5sq-30+E3.5
	EM-CE8sq-30+E5.5
2、電源ケーブルは、室外機まで配線のこと。	
3、シンボルは以下の通りとする。	
	450□点検口（新設）
	450□点検口（既設）

動力盤結線図

EP-5

- ・銅板製露出壁掛形
- ・取付け位置は現地協議のこと



負荷容量	負荷名称	定 格	回路 No.	回路 No.	定 格	負荷名称	負荷容量
2. 25kW	エアコン室外機 第1理科室（1）	3P 50/30AT 30mA	1	1	3P 50/30AT 30mA	エアコン室外機 音楽室	5. 12kW
2. 25kW	エアコン室外機 第1理科室（2）	3P 50/30AT 30mA	3	2	3P 50/30AT 30mA	予 備	—



釜石市建設部都市計画課

課 長 主 幹 課長補佐 設 計

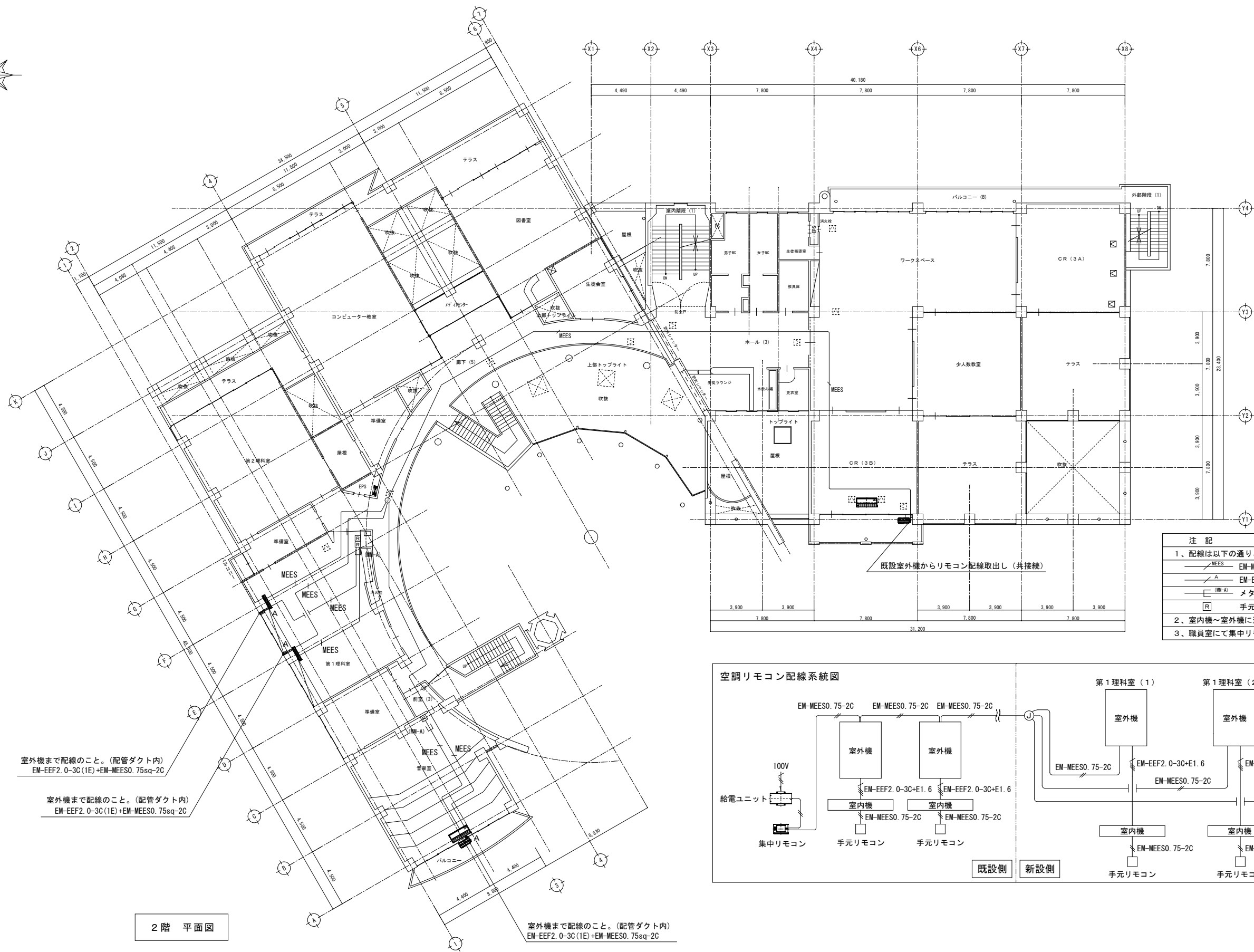
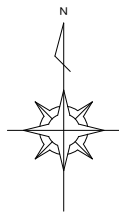
工事名 大平中学校空調整備工事

図面名 2階 空調動力幹線配線図・動力配線図・動力盤結線図

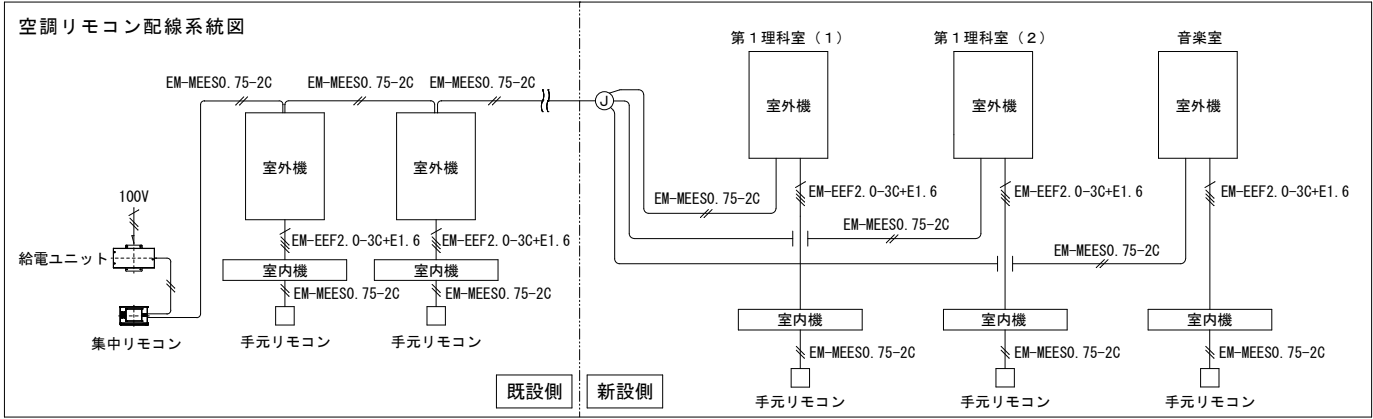
令和5年6月

縮尺 A3：1/300

E-05



注 記	
1、配線は以下の通りとする。	
	EM-MEES0.75sq-2C
	EM-EEF2.0-3C(1E)+EM-MEES0.75sq-2C
	メタルモール(MM-A)
	手元リモコン (メタルモール用スイッチボックス2ヶ用共)
2、室内機～室外機に至る配線は、配管ダクト内に収納のこと。	
3、職員室にて集中リモコンのため、設定を含むこと。	



1. 工 事 概 要

- | | |
|---------|--------------|
| 1. 工事名称 | 大平中学校空調整備工事 |
| 2. 工事場所 | 釜石市大平町3丁目6-1 |
| 3. 建物概要 | |

建築物名稱	構造	階數	延面積 (㎡)	消防法施行令 (別表)	備考
大平中学校	R C 造	4 階		7 項	

4. 工事種目（◎印のついたものを適用する）

[illegible]

5. 設備概要（◎印のついたものを適用する）

	<input checked="" type="radio"/> 空気調和	<input checked="" type="radio"/> 全空気方式・ファンコイル・ダクト併用方式 <input checked="" type="radio"/> パッケージ方式（EHP）
空気調和方式等	<input type="radio"/> 温風暖房	<input type="radio"/> 温風暖房機・F F 暖房機 <input type="radio"/> 全空気方式・ファンコイル・ダクト併用方式
	<input type="radio"/> 直接暖房	<input type="radio"/> 蒸気暖房・温水暖房
給水方式	<input type="radio"/> 水道直結方式	<input type="radio"/> 高圧タンク方式・加圧送水方式
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（分流水）	合流式
	放流先 汚水	下水直連接続放流・処理浄化槽
給湯方式	<input type="radio"/> 雑排水	<input type="radio"/> 下水直連接続放流・処理浄化槽・側溝
	<input type="radio"/> 局所式	<input type="radio"/> 中央式
消火設備方式	<input type="radio"/> 屋内消火栓・連結送水管・屋外消火栓・スプリンクラー <input type="radio"/> 二酸化炭素消火・連結放火・粉末消火・溶剤消火・その他	

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）及び公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）による。

2. 特記仕様

- 1) 項 目 番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項 ◎ 印の付いたものを適用する。
◎ 印の付かない場合は ※ 印の付いたものを適用する。
◎ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。

項目	特記事項	検査項目
① 適用基準等	①工事等事項の振り方 建築設備規格（国土交通大臣官庁官庁業務部監修）（最新版） ②機械設備工事監理指針（最新版） 国土交通大臣官庁官庁業務部監修	
2. 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、当該施設の電気技術員及び当該施設を保守管理する東北電気保安協会等を補佐し、工事期間中の電気工作物の保安及び工事監理の業務を行うものとする。	
3. 技能者	・ 配管施工技能士 ・ 熱絶縁施工技能士 ・ 塗装施工技能士 ③ 冷凍空気調和機器施工技能士 ・ 建築衛生金工施工技能士	
④ 機材	本工事に使用する機器及び材料は新品とし、設計図書に定める品質及び性能を有するものとするほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は監督官の承認を受ける。	
⑤ 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書による。	
⑥ 工事用水の電力・水・その他	工事用仮設電力・水等の費用、官公署等への諸手続等の費用、及び本電源受電後引渡し又は、使用開始までの電気料金は、関係各該業者等に対して協議の上負担すること。	
7. 足場その他	※別契約の関係請負業者の設置する足場、さんばの類は、無償で使用できる。 ・ 本工事で定置する。 ・ 構内に作ることが ⑤ 出ない ・ 出ない ・ 構内に駐車が ⑤ 出ない ・ 出ない ・ 構内に作ることが ⑤ 出ない ・ 出ない ・ 構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所 ・ 構内指示の場所にたい積	
⑧ 工事用仮設 工事用駐車場 資機材置場 9. 残土処理 10. 発生材の処理	イ）引渡しを要するもの ※ なし ・ あり（ ） ロ）特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり（ ） 上記付（ロ）以外の発生材は、可能な限り中間処理施設等において再利用・減量処理を図るものとし、処理方法等は監督官と協議する。 ニ）現場において再利用を図るもの ・ 現場における分別・保存材は、機器・配管・ダクト等と分別する。 ホ）本工事で発生する建設廃棄物のうち、若手県内の最終処分場（中間処理施設除く）に搬入される産業廃棄物については、若手県産業廃棄物処理センターに搬入されるもの適正に処理すること。	
⑪ 総合調整	各機器の個別運転調整後下記の内容の総合調整を行う。 ・ 風量調整 ・ 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 室内気流及び塵埃の測定 ・ 騒音の測定 ⑥ 初期運転状態の記録 ⑦ 機器の絶縁抵抗の測定	
⑫ 容量の表示	イ）電動機出力などは、表示された出力以下の容量とする。 ロ）冷凍空調機器等及び防災機器の能力、容量はその数値以上とする。 ハ）電圧の周波数は、50(Hz)とする。	
⑬ 耐震施工	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外すべて建築設備耐震設計指針（建設省住宅局建築指導課編1997年）による。	
⑭	施設場所 特定施設 一般施設	設計用標準水平震度 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器 上層部、屋上及び塔屋 2.0(2.0) 1.5(2.0) 1.5(2.0) 1.0(1.5) 中間部 1.5(1.5) 1.0(1.5) 1.0(1.5) 0.6(1.0) 1階及び地盤 1.0(1.0) 0.6(1.0) 0.6(1.0) 0.4(0.6)
		注1 設置場所の区分は標準仕様書による。 注2 ① 内の設備は防災要請の機器の場合に適用する。 イ）本工事は施設は、（※一般の施設 ・ 特定の施設）とする。 ロ）地域係数は、1.0とする。 ハ）100kg以上の重量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においては耐震を考慮し、据付け又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。 ニ）重要機器（高架タンク、受水タンクは機器表による。）

⑭は つ り

⑮他工事との
取り合い

既のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは、原則として
ダイヤモンドカッターによる。

イ) 端子等については、特に電気請負業者と事前打合せを行う。
ロ) 機器付属の制御盤及び操作盤までの一次側電気工事は全て
※ 別工事
ハ) 機器付属の制御盤及び操作盤までの二次側電気工事は全て
※ 別工事
ニ) 全てのスリーブ入れ及び箱入れは
※ 本工事 ・ 別途
ホ) スリーブ及び箱入れの補強工事は
※ 本工事 ・ 別途
ヘ) 天井、壁のボード類(軽量鉄骨も含む)の下部切込み及び開口補強は
※ 本工事 ・ 別途

⑯手 続 き

⑰予備品等

官公署への諸手続き等は遅滞なく監督員と協議のうえ、請負者が代行処理する。
ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として、２０％納入する。
(種別ごと最低１個)

建築物導入部の変位吸収は標準図(施工４及び５)による。
対象管
・ ガス管
・ ガス管
・ 油 管
イ) 管周囲の保護
・ 山砂
ロ) 埋戻し土
・ 山砂
・ 良質発生土

18. 配管の建物導
入部の変位吸収

19. 管周囲の保護
砂及び埋戻し土

20. 地中埋設工
及び埋設表示用
テープ

21. 絶縁フランチ
取付箇所
井等のサイズ
試 験

⑳ そ の 他

㉑保 険

加入金額
加入時期及び期間

請 負 金 額 の １ 〇 〇 %
資材搬入前から完成後３０日まで

㉒完成時提出
書類
電気設備工事
特記仕様書と同様

㉓工事実績情報の
登録
(工事カルテ)

㉔施工条件

書類名

内 容

規 格

部数

備 考

・ 完成
図面

・ 修正設計図
・ 青焼施工図
・ 金文字入裏表紙
・ 市販ファイル

C D - R
・ A 4 版
・ 2 折 製 本

・ 2
・ 1
・ 3

関係者一覧表、製作図、機器取
附表、試験成績表、緊急連絡先一
覧、保証書、官庁届出書取手、産
廃物処理関係書類等を一括ネジ
め製本とする。なお、１冊の厚さ
10 cm程度とし、裏表紙の前にク
フ封筒添付

・ 工事用
写真

・ カラー
・ カラー
市販工事写真真帳
(表紙)

C D - R
9 ｃｍ 版
A 4 版

・ 2
・ 1
・ 2

撮影場所とその説明を記載する
デジタルカメラも可とする
(注)ただし、仕様については監督
員と協議すること

・ 保守管
理案内書

日常保守管理案内書

A 4 版
7 ｆｉｌ ｅ

・ 1
・ 2

使用が容易に理解できるもの

・ 材 料
検収簿

主要材料

A 4 版
7 ｆｉｌ ｅ

・ 1
・

補助監督員が認印したもの

・ 原図、
陰面、
原紙

・ 提出しない
・ 提出する

・ 原図
・ 陰面
・ 原紙

ファイルに入れて納品する

1. 温 度
調整目標値

2. ばい煙濃度計

3. ばいじん量
測定口

4. 煙 突

5. 煙 道

6. ダ ク ト

7. 風量測定口

8. 防煙ダクト

9. 防火ダンパ

10. 定量ユニット

11. 配管材料

12. 弁 類

13. 鋼 管
用
伸縮管継手

14. 温 度 計

外 気

室 内 (目標値)

備 考

温度湿度温度湿度温度湿度温度湿度

℃%℃%℃%℃%℃%℃%

冬期C%DB(RH)DB(RH)DB(RH)DB(RH)

夏期C%DB(RH)DB(RH)DB(RH)DB(RH)

・ 取付ける

・ 取付けない

・ 取付けない

※ 取付ける(測定口80 フランジ止)

※ 別途

※ 鋼板厚4.5mm、高さ5.7m以上)

※ 鋼板厚300以下は3.2mm、300を超えるものは4.5mmとする。
※ 図示による(410以上の煙道には、排煙口に継ぎを取付ける)

※ アングル工法
・ コーナーボルト工法(・ 共板 ・ スライド)

※ 取付場所は図示による。取付け金は監督員の指示による。
取付け方
※ 送風式(電動式(定格入力DC24V0.5A以下))
※ 風送り ・ 同時

図示のFVDTとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調節機構は、
段階的調節機構とする。

イ) メカニカルタイプ
・ 風速センサータイプ

ロ) 冷温水管
※ 配管用炭素鋼鋼管(白)
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管
・ 耐熱ライニング鋼管
・ ステンレス鋼管
ロ) 冷却水管
※ 配管用炭素鋼鋼管(白)
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管
・ 塩ビライニング鋼管
・ ポリ粉体ライニング鋼管
・ ステンレス鋼管
ハ) 蒸気管 送り管
※ 配管用炭素鋼鋼管(黒)
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管
・ 耐熱ライニング鋼管
・ 一般配管用ステンレス鋼管
ニ) 油管、油用通気管
※ 配管用炭素鋼鋼管(黒)
・ 鋼 管
・ 外面ポリエチレン被覆鋼管(屋外、トラフ内配管)
ホ) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー等への給水管
※ 配管用炭素鋼鋼管(白)
・ 鋼 管
ヘ) 空調用排水管
※ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ ビニル管(VP)
ト) 冷媒管
※ 鋼管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 ㊦ 断熱材被覆鋼管
※ J I S 5 k g f / c m 2 J I S 1 〇 k g f / c m 2
※ ペローズシート
・ スリーブ

標準仕様書によるほか、下記の箇所に取付ける。
(配管用はし形、ダクト用は丸形)
イ) 空気調和、温風暖房機まわりの給気ダクト、環気ダクト及び外気ダクト
ロ) 冷温水ヘッジ管(住)及び冷温水ヘッダーの各理り管
ハ) パッケージ型空気調和機の冷却水出口

15. 瞬間流量計及び測定用タッピング(φ2mmピストン管流量計用)	イ) 冷凍機又は冷水発生機の冷水出口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形) ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ロ) 冷凍機又は冷水発生機の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形) ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ハ) ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形) ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ニ) 空調機及び機の水入口 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形) ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける ホ) 冷水水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 (・ 固定形) ・ 着脱可能形) ・ タッピングを取付ける
16. オイルタンク	イ) 遠隔油量指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない ロ) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100.1英測目印印とする。計量尺は取付けないとする。
17. 積算油量計	※ 取付ける ・ 取付けない
18. 消音内貼り	イ) 施工箇所は図示による。 ロ) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。
19. 保 温	イ) 建物内の空気抜き管の保温は、空気抜き弁(井含む)までとし、仕様は冷水水管の項による。 ロ) 屋外露出配管の保温は、給排水設備の項による。 ハ) 外気取り入れダクトの保温は ※ 行う ・ 行わない ニ) 屋外の冷媒管の保温外装は ㊤ 化粧ケース(樹脂製)とする。 ホ) 高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚 40mmとする。
20. 電気工事の範囲	イ) 地震感知器の配管配線は ※ 別途 ・ 本工事 ロ) 防煙ダンパーと運動制御器までの配管配線及び運動制御器から煙感知器までの配管配線は ※ 別途 ・ 本工事
21. カセット形ファンコイルユニットの風量分配ダクト	※ 亜鉛鉄板製 ・ 自己消火性のポリスチレンフォーム製
換気設備	1. 準用事項 [・ 暖房・冷房・空調機と設備の当該事項に準ずる。] ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 2. ダクトの工法 ※ アングル工法 ・ コーナーボルト工法 (・ 共板 ・ スライド) ・ スパイラルダクト 3. 厨房用フード (・ 一重 ※ 二重)としてフードコック(※ 有 ・ 無)とする。 4. 保 温 イ) 外気取り入れダクトは保温する。ただし、送・排風機は除く。 ロ) 全熱交換器に接続するダクトは、保温を行う。 ハ) 外壁より1m部分の排気ダクト及び浴室排気ダクトは、保温を行う。
排煙設備	1. ダクト ・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(1.6mm以上) 2. 排煙口開放装置 ・ 手動式 (・ ワイヤード ・ 電気式) ・ 手動及び遠隔操作可能なもの 排煙風量を測定する場合は JIS A 4303 の排煙設備検査基準 4.2.1 (2) (C) による。 3. 排煙風量測定方法 4. 排煙口の形式 ・ 可動羽根(スリット共) ・ 可動パネル
・ 自動制御設備	1. 中央監視制御 ・ あり ・ なし 2. 中央監視制御の構成機能 3. その他 室内温湿度検出器等を2個以上併設して設置する場合は、サーモケースを使用する。
衛生器具設備	1. 大便器洗浄弁 ・ 不凍結排水弁付とする。 ※ 防露形ロータック (※ 手洗いなし ㊤ 手洗い付) 2. 大便器洗浄用タンク ※ 押ボタン式(不凍結排水弁付) ㊤ 自動洗浄(AC100V) 3. 小便器洗浄装置 ※ 埋込 ・ 一部埋込 ・ 露出 4. 小便器洗浄管 吊りこま式(節水こま式)とする。変換器具用は除く。 5. 付属水栓 大便器及び小便器の壁に取付ける ・ 樹脂製 6. 注記板 電源供給方法(※ AC100V ㊤ 流水発電蓄電池)
給水設備	1. 量水器 親メーターは ※ 借用 ・ 買取り 子メーターは ※ 買取り 2. 量水器樹イ) 親メーター用 ・ 水道事業者の指定店 ・ 標準図(機材 57) ロ) 子メーター用 ・ 標準図(機材 57) ・ 水道事業者の指定店 3. 配管材料 イ) 一般用 ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 鉄鋼管 ロ) 地中用(屋内地中も含む) ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管 ・ ビニル管 ・ ポリエチレン管 ※ 鉄鋼製 ・ ステンレス製 (・ 継付 ・ 継無) 4. 散水栓 水道直結部分 ※ JIS 10kgf/cm ² 高置水栓以降 ※ JIS 5kgf/cm ² ・ JIS 10kgf/cm ² 5. 弁類 ・ 一般水栓 ・ 耐寒水栓 6. 給水栓 ※ 一般敷地内(0.6m以上) ・ 敷地内車庫道路(0.6m以上) 7. 埋設深さ ※ 公道部分(※水道事業者及び道路管理者規定による) ・ 本工事に ※ 含む(水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない 9. 保 温 イ) 量水器樹内の保温を行う。 ロ) 屋外配管(井、フランジ類を含む)は、標準仕様書第2編2.3.5表a2(2)、厚さは、呼び径25mm以上のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mmとする。 10. 水道加入金等 水道加入金 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) ・ 不要 11. その他 給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

1. 配管材料	イ) 屋内汚水管 ・ 排水用塩化ビニリング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ メカニカル形排水鉄管 ・ ビニル管 (V P) ・ 鉛 管 ・ 耐火二層管 ロ) 屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 排水用塩化ビニリング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ 排水用鉄管 ・ ビニル管 (V P) ・ 耐火二層管 ハ) 屋外汚水、雑排水管 ・ ヒューム管 (1種B形) ・ ビニル管 (V P) ・ ビニル管 (V U) ・ コーティング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白)
2. 満水試験継手	ニ) 通気管、空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 排水用塩化ビニリング鋼管 ・ コーティング鋼管 ・ 排水用鉄管 ・ ビニル管 (V P) ・ 耐火二層管 ・ 取付けない ・ 図示した箇所に取付ける
3. 別途流し	トラップは (・ 別途 ・ 本工事) 立管は本工事
4. 試 験	排水管は、衛生器具などの取付け完了後煙試験又は通水試験を ※ 行う ・ 行わない
5. 放流負担金	・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
1. 配管材料	・ 耐熱性塩化ビニリング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 鋼 管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管 給水設備の当該事項による。
2. 弁 類	機器に接続する給水管、給湯管は鋼製又はステンレス製のフレキシブルチューブを 使用してよい。
3. 湯沸器回り 配 管	※ 本工事 (厚さ 0. 5 mm 以上のステンレス鋼板製) ・ 別途
4. 湯沸器の 排気筒	
5. 保 温	湯沸器排水管の保温は ※ 行う ・ 行わない
1. 配管材料	イ) 一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (継目無管) (Sch80) ロ) 地中埋設部 ・ 外面被覆鋼管 (SGP-VS) ・ 外面被覆鋼管 (SGP-PS) ・ ・ JIS 1 0 kgf / cm ² ・ JIS 2 0 kgf / cm ² 屋外露出管については給水管に準ずる。 kgf / cm ² 以下
2. 消火栓開閉弁	
3. 保 温	
4. 2号消火栓 の圧力損失	
1. ガスの種類	・ 都市ガス (発熱量 kCal / m ²) 都市ガス供給業者 () ・ 液化石油ガス (12,000 kCal / Kg)
2. 配管材料	イ) 一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管 (白) ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ロ) 地中埋設部 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ イ) ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用 子メーターは買取りとする。 ロ) 引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事) ・ イ) ガスボンベは ※ 借用 ・ 買取り (・ 1 0 kg ・ 2 0 kg ・ 5 0 kg 本) ロ) ガスメーター 親メーターはガス供給事業者より借用 子メーターは買取りとする。 ハ) 転倒防止用の鎖は ※ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 転倒防止装置は ・ 本工事とし施工要領は標準図 (施工 7 3) による。 ・ 本工事 図示の場所に 取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) 外部出力端子 (・ あり ・ なし)
3. 都市ガス	
4. 液化石油ガス	
5. ガス漏れ警報 遮断装置	
6. 埋設深さ	※ 一般敷地内 (m 以上) ・ 敷地内車輦道 (m 以上) ・ 公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による)
1. 厨房機器類	・ 本工事 ※ 別途工事
2. 付属制御盤	器具付属の制御盤は、製造者規格品とする。
1. 処理能力	図示による。
2. 放流水質	図示による。
3. 処理方式	図示による。
4. 主要構造	図示による。
5. 制 御 盤	※ 制御盤には漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 ・ 製造者標準品とする。
6. 消 毒 剤	3 0 日分を納入する。
7. 維持管理	※ 使用開始後請負者において 1 年間維持管理すること。 (放流水の水質検査書を提出する) ・ 一定期間定常状態において使用後、放流水の水質検査書提出すること。
1. 撤去工事	・ 空調設備 ・ 給排水衛生設備 ・ ・ アスベストの撤去 ・ 有り ・ 無し
① 発生材	② 発生材は、金属 (鉄、アルミニウム、ステンレス等)、樹脂 (プラスチック、ビニル管等)、保温材 (ロックウール、グラスウール、ポリスチレンフォーム等、その他、(コンクリート破片等) 等に分けて分別収集する。
② 産業廃棄物	③ 産業廃棄物の処理は適正に処理する。
※ 防食工事	トラフ内通配管には、ペトロラタム系防食テープをハーフラップ1回巻きの上、防食用プラスチックテープをハーフラップ1回巻きとする。 被覆鋼管等同様とする。



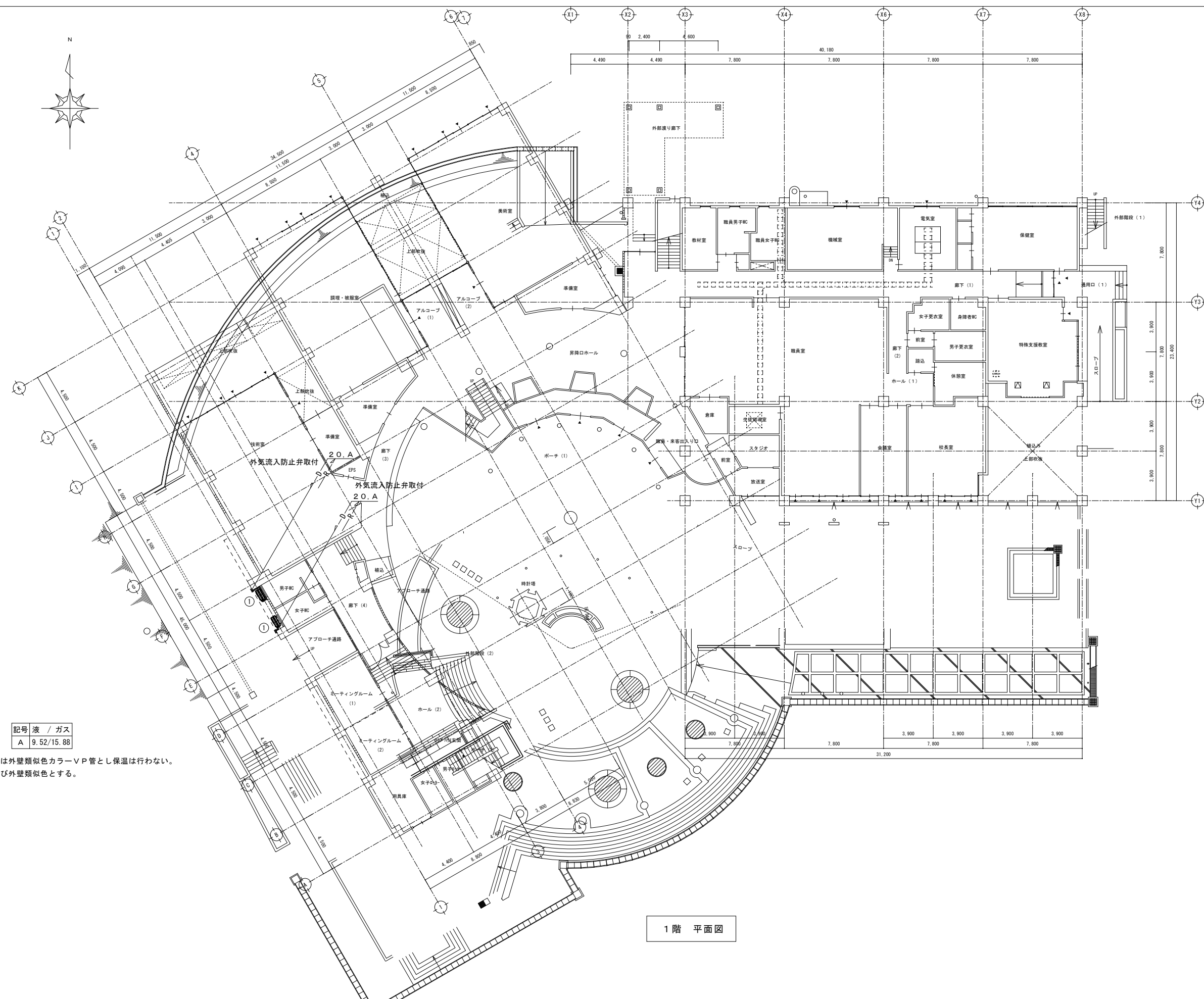
釜石市建設部都市計画課

大平中学校空調整備工事

令和5年6月

図面名 機械設備特記仕様書

M-0 1

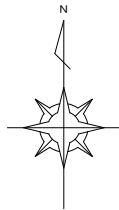


記号	名 称
□	スリムダクト140
■	100φコア抜

記号	液 / ガス
A	9.52/15.88

※ドレン管屋外露出配管は外壁類似色カラーVP管とし保温は行わない。
※スリムダクトは内装及び外壁類似色とする。

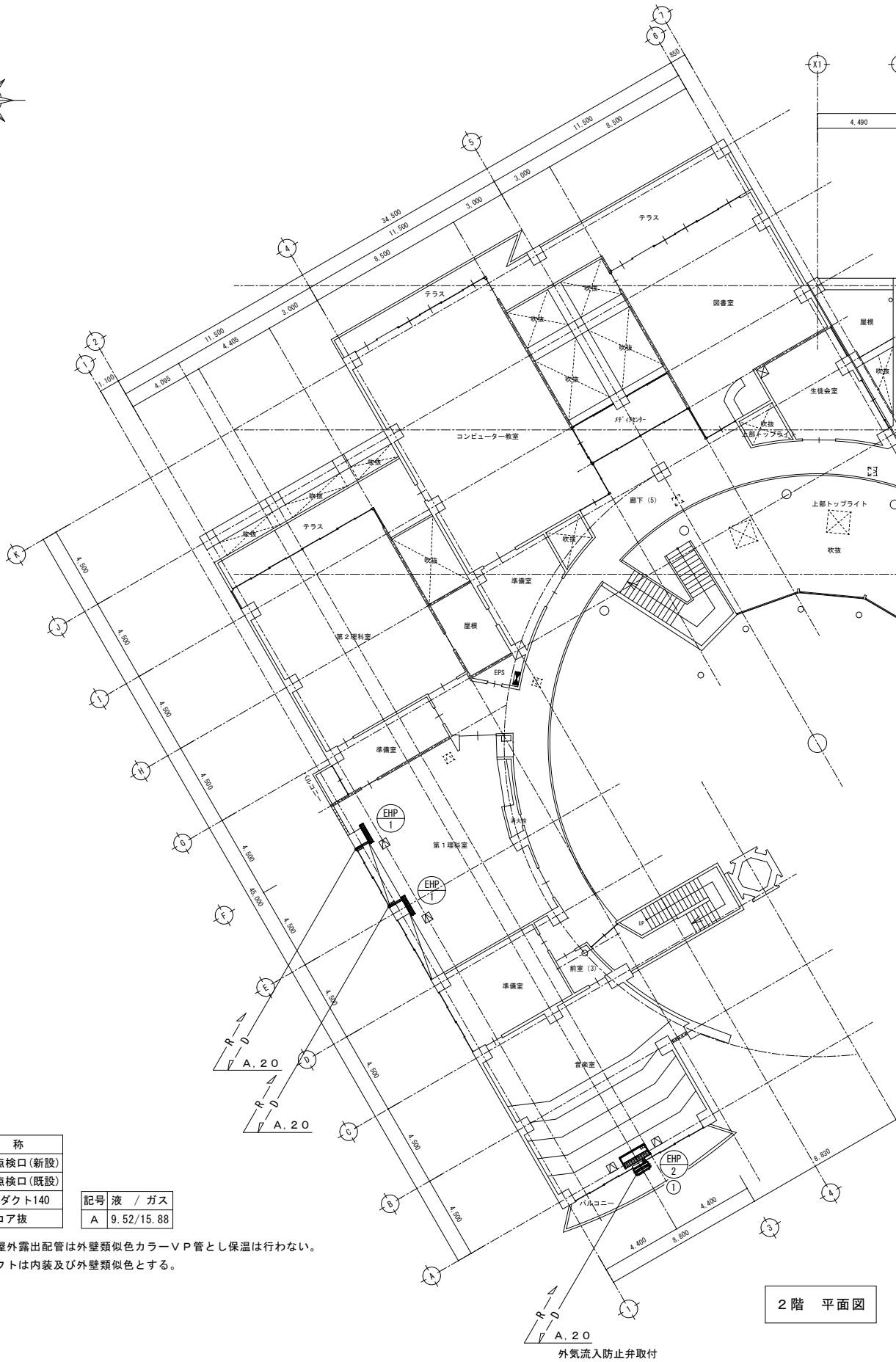
1階 平面図



記号	名 称
	450□点検口(新設)
	450□点検口(既設)
	スリムダクト140
	100φコア抜

記号	液 / ガス
A	9.52/15.88

※ドレン管屋外露出配管は外壁類似色カラーV P 管とし保温は行わない。
※スリムダクトは内装及び外壁類似色とする。



2階 平面図

機器表		仕 様 ・ 内 訳	電気容量 (定格)		数 量	設 置 場 所	備 考 (参考品番)
記 号	名 称		φ-V	kW			
EHP 1	空調機	形式：ヒートポンプエアコン 壁掛形 標準シングル インバーター制御 新冷媒対応型 耐重塩害仕様	3 - 200	2.25	2	2階 第1理科室	PKZ-ERMP80K3-BSG
	(室外ユニット)	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW					
		付属品：学校空調用安全ネット 転倒防止金具 他標準付属品一式 集中制御用ユニット					
	(室内ユニット)	冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW					
EHP 2	空調機	形式：ヒートポンプエアコン 天吊形 標準シングル インバーター制御 新冷媒対応型 耐重塩害仕様	3 - 200	5.12	1	2階 音楽室	PCZ-ERMP160K3-BSG
	(室外ユニット)	冷房能力14.0kW 暖房能力：16.0kW					
		付属品：学校空調用安全ネット 転倒防止金具 他標準付属品一式 集中制御用ユニット					
	(室内ユニット)	冷房能力14.0kW 暖房能力：16.0kW					
①	室外機架台	壁面用ブラケット溶融亜鉛メッキ架台			3		PC-BJ61
		架台固定用接着系アンカー一式					